

2021年10月発信

報道関係各位

社内の「育メン留学制度」利用者が開始6年で累計30人を突破 ～育児で“休み”ではなく、家庭に“留学”。商品開発に生かす～

株式会社ナスタ（本社：東京都港区、代表取締役社長：笹川順平 以下、ナスタ）は、「日本一家族を大切にできる会社」を目指し、社員やその家族の生活、働き方、人生を応援するため、様々な支援制度を導入しています。その中で、2015年に導入した「育メン留学制度」が累計30人を突破しました。



【育メン留学の概要】

配偶者の出産日から1ヶ月間の育児休業（給与保証）を取得し、家庭に留学して育児・家事の大切さを学ぶ制度です。育児や家事に専念するために「休む」のではなく、家庭での「学び」を得るといった目的で2015年に導入されたナスタ独自の制度です。

【育メン留学の目的】

- ①商品力の向上
- ②チームビルディングの構築
- ③生産性の向上

ナスタの製品・サービスは、「住むを良く」をコンセプトに作られ、たくさんのお客様に支えられていますが、そのような商品を生み出すナスタ社員は、「住むとどういふことか」を一か月の育児留学をきっかけに改めて考え直し、商品力の向上に努めています。

また、一か月間不在にすることで、会社全体の業務を今まで通り回すことが困難になるかと思われそうですが、それに対し笹川社長は、この制度によって出産を控えた奥さんを持つ男性社員が一人抜けることを事前に把握したうえで、業務を今まで以上に効率よく回そうとする、会社のチームビルディング向上につながると話します。

このようにナスタでは、家庭を第一に考え、その家族に喜んでもらえるような商品開発に努めるために、会社全体で育休を取得しやすい環境作りを徹底して行っています。ただ会社を休むという制度ではなく、「学びの場」として会社側が義務化することで発展が生まれ、生産性の向上につながると考えます。

【支援制度の実績】

これまでナスタでは、2015年の制度化以降30人の男性社員が育メン留学を経験、代表の笹川も経験しています。厚生労働省の調査によると、2020年度の男性の育児休暇取得率は12.65%だったのに対して、ナスタでは取得率100%を継続しています。

育メン留学や不妊治療費補助などの支援制度の他、育児短時間勤務や時差勤務の拡大、妊娠時の勤務緩和措置など、女性の活躍を支援しており、これまで住宅設備業界において男性優位だった古い体質を一新し、10年前は1割にも満たなかったナスタの女性社員は、現在4割を超えました。

【育メン留学をした社員の声】

■ 経理課 Eさん

「育児を体験し、考え方が180度変わりました。産後1～2ヶ月の妻は、寝不足と疲労で体力・精神的にも限界にきていました。この時期に妻のサポート、育児ができたことを本当に感謝しています。」

■ 物流課 Hさん

「私たち(夫婦)の様子を見て、長女と長男が自発的に手伝いをしてくれるようになり、大変うれしく、そして家族全員にとって良い経験になりました。家族全員が互いを思いやれたことが最大の収穫です」

■ 製造課 Tさん

「すべて妻に任せていたこと(掃除、洗濯、食事の支度、おむつ替え、沐浴、2匹の犬の散歩)を自分はスムーズにできず、改めて妻を尊敬しました」

■ 営業部 Sさん

「家事も子供の世話も、思い通りに事が進まないのは日常茶飯事でした。育児に入り込めば入り込むほど、世の中の母親は皆この道をたどってきたかと思ひ、あらためて女性のすごさを認識しました。」

その他の支援制度の内容や特徴など、詳細についてはナスタコーポレートサイト内「福利厚生」のご案内をご参照ください。

※ コーポレートサイト（福利厚生ご案内）：<https://www.nasta.co.jp/recruit/welfare/>

〈会社概要〉

【代表者】代表取締役社長 笹川順平

【創 業】1930年8月4日

【資本金】1億円

【事業内容】新しいライフスタイルの企画・開発

〈本件に関するお問い合わせ〉

株式会社ナスタ 広報担当 宮本仙葉

Tel: 03-6861-7060

Mail: s-miyamoto@nasta.co.jp